

臨床的 HOW TO ～ アナログ・デジタルのミッションとは ～

一般社団法人 愛知県歯科技工士会所属

株式会社 悠 代表取締役 近 藤 悠 司

CURAESTHETICDENTALCENTER 代表 鬼 頭 寛 之



近 藤 悠 司



鬼 頭 寛 之

【講演抄録】

現在の歯科医療は、クリニックサイドの口腔内スキャナー導入が大きな転換期となりデジタル化が急速に普及し、それに伴い近年のラボサイドにおけるデジタルソリューションも大きな変化を遂げた。

従来は最終補綴装置の製作が主であったが、近年ではより綿密な診断を行い、患者様にもよりの確な提案ができるコミュニケーションツールの一環だと感じる。勿論コンベンショナルな手法は長い経験から安心感があるものの、デジタルツールのメリットを利用すれば明確かつ円滑に進めることが可能となる。

今回私達2社のラボサイドからのご提案として、今までアナログで培ってきた工程をデジタルルールに置き換え、臨床ステップを交えながらエстетティック、インプラント設計等デジタルコミュニケーションのポイント（メリット/デメリット）を紹介する。

是非歯科医師、歯科技工士の方には今後の臨床の参考になれば幸いです。

【略 歴】

近藤 悠司 (こんどう ゆうじ)

- 1997年 名古屋歯科医療専門学校 歯科技工士科 卒業
- 1997年 歯科技工士登録
- 1997年 (有)クラフト 勤務
- 2005年 小野寺歯科 勤務
- 2007年 (株)浅井歯科技研 勤務
- 2013年 スタジオ 悠 開設
- 2021年 株式会社 悠 開設

【活動内容】

- 2009年 (社)日本口腔インプラント学会会員
- 2009年 (社)愛知県歯科技工士会会員
- 2011年 第5回モリタ技工フォーラム登竜門 優秀賞
- 2012年 (社)日本歯科技工士会 日技認定講師取得
- 2014年 ADTAトレーニングセンター インストラクター就任
- 2017年 デンツプライシロナ ラボインストラクター就任

【略 歴】

鬼頭 寛之 (きとう ひろゆき)

- 2001年 専門学校名古屋デンタル技工士学院卒業
- 2003年 大阪セラミックトレーニングセンター大阪校19期卒業
- 2003年 カस्पデデンタルサプライ/カナレテクニカルセンター入社
- 2012年 カस्पデデンタルサプライ/カナレテクニカルセンター退社
- 2012年 CURA ESTHETIC DENTAL CENTER開業

日技認定講師

GC initialインストラクター

新大阪歯科技工士専門学校非常勤講師

- 2008年 NEXT GENERATION投稿 (QDT)
- 2009年 第3回モリタ技工登竜門グランプリ受賞
- 2009年 MASTER PIECE 掲載 (QDT)
- 2009年 日本歯技 掲載
- 2010年 設計 操作 臨床 ジルコニアレストレーション掲載 (歯科技工)
- 2011年 匠 掲載 (歯科技工)
- 2012年 このクラウンどう作る?前編、後編 (QDT)
- 2015年 Case Report GRAPHIC (歯科技工)
- 2018年 第8回日本国際歯科大会 登壇
- 2019年 HMPS登壇
- 2021年 MASTER PIECE 掲載 (QDT)